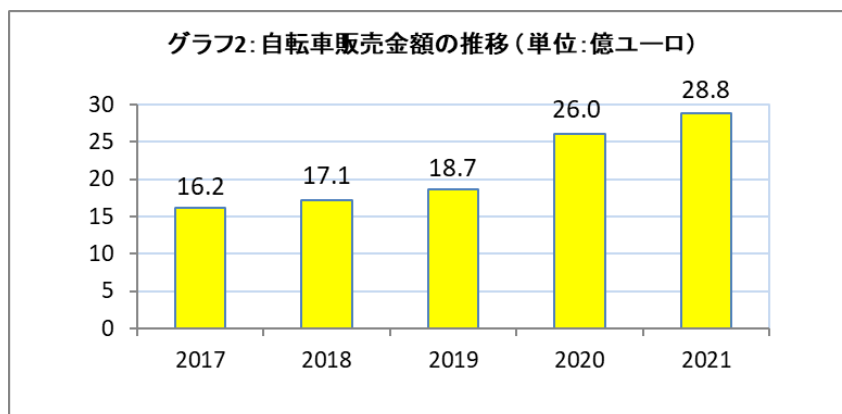
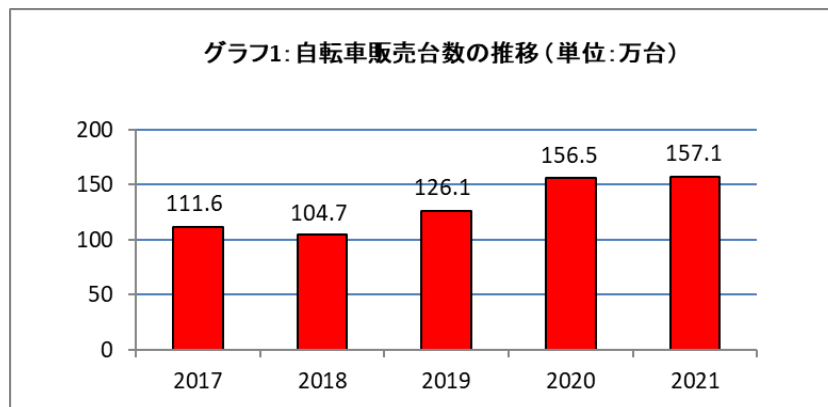


スペイン自転車市況-2021

1. 販売動向

ASOCIACION DE MARCAS Y BICICLETAS DE ESPANA(スペイン自転車産業協会、以下 AMBE)によると、スペインの自転車販売台数は、2021年は前年比0.38%増の157.1万台と僅かながら増加した。2013年からの5年間、販売台数は2013年(103万台)、2014年(108万台)、2015年(110万台)、2016年(111万台)と微増を続けており、直近5年間では2018年に前年をやや下回ったものの2020年にはコロナパンデミックの影響で156万台にまで上がり、2021年は微増となった。



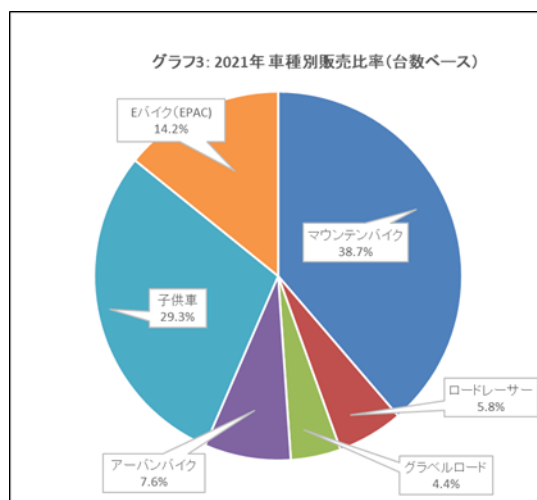
金額ベースでも2021年は自転車市場全体で前年比10.7%増の28億880万ユーロと1割強増加している。金額でも2013年からの5年間、2013年(12.7億ユーロ)、2014年(13.5億ユーロ)、2015年(14.7億ユーロ)、2016年(15.4億ユーロ)と右肩上がり、直近5年間では2020年のコロナ禍で前年比39.3%増の26億700万ユーロとなり、2021年はさらに1割強の増加となっている。

2. 車種別販売動向

2021年の車種別平均販売価格及び台数等は表1のとおりで、2021年よりグラベルロードが車種区分に新設され、シティ車はアーバンバイクと名称変更されている。平均販売価格は全体で984ユーロに対し、ロードレーサー 2,303ユーロ、Eバイク（EPAC）2,861ユーロが高価格帯を占めている。台数ベースでは、全体で対前年比0.4%増に対し、ロードレーサーとグラベルロードの合計が対前年比51.2%と大きく増加している。

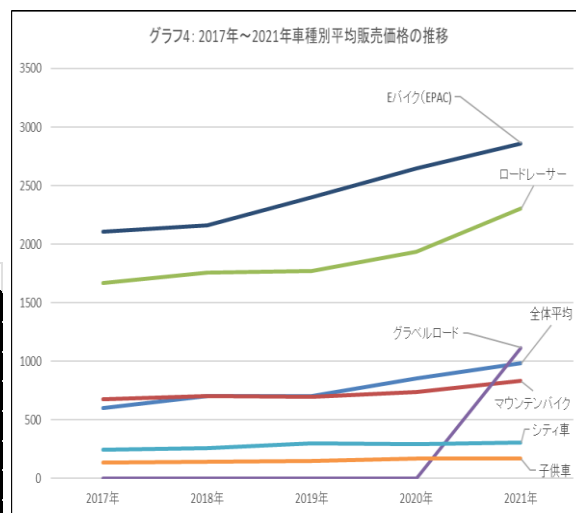
2021年の車種別販売台数比率はグラフ3のとおりで、マウンテンバイクが4割弱、Eバイク（EPAC）が1.5割弱、ロードレーサーとグラベルロードを合わせ1割強の割合である。

車種	平均価格	前年比	販売台数※	前年比	比率※
	2021年全体	984	14.9%	1,571,368	
車種	平均価格	前年比	販売台数	前年比	比率※
マウンテンバイク	832	12.7%	607,995	0.1%	38.7%
ロードレーサー	2,303	-7.5%	90,740	51.2%	5.8%
グラベルロード	1,116		69,195		4.4%
アーバンバイク	306	5.3%	119,686	-12.0%	7.6%
子供車	169	0.0%	460,191	-8.6%	29.3%
Eバイク(EPAC)	2,861	8.1%	223,561	5.1%	14.2%



車種別平均販売価格の2017年から2021年にかけての推移は表2及びグラフ4のとおりで、ロードレーサーとEバイク（EPAC）が上昇傾向にある。

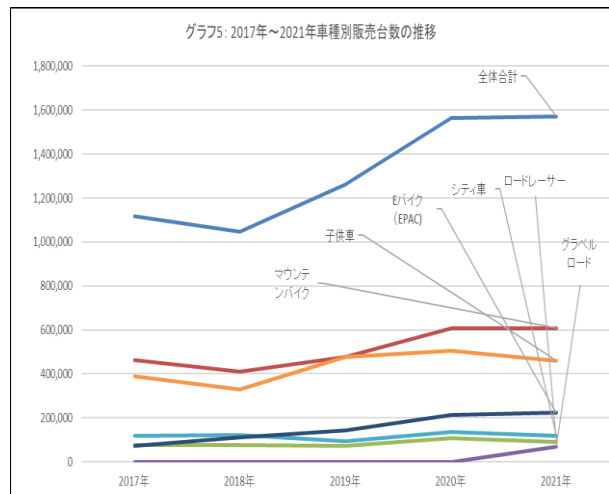
車種	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年
全体平均	603	706	704	856	984
マウンテンバイク	680	704	699	738	832
ロードレーサー	1,670	1,755	1,773	1,934	2,303
グラベルロード	0	0	0	0	1,116
シティ車	248	258	298	291	306
子供車	137	141	147	169	169
Eバイク(EPAC)	2,107	2,165	2,403	2,648	2,861



車種別販売台数の2017年から2021年にかけての推移は表3及びグラフ5のとおりで、台数ベースではマウンテンバイクが2020年及び2021年において60万台を維持している。

表3: 2017年～2021年車種別販売台数 (単位:台)

車種	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年
全体合計	1,116,232	1,047,492	1,261,283	1,565,233	1,571,368
マウンテンバイク	461,105	409,030	475,663	607,196	607,995
ロードレーサー	74,788	75,904	72,297	105,776	90,740
グラベルロード	0	0	0	0	69,195
シティ車	119,245	122,518	92,874	135,962	119,686
子供車	389,069	328,744	477,683	503,664	460,191
Eバイク(EPAC)	72,025	111,297	142,766	212,635	223,561



3. 自転車関連企業と販売形態

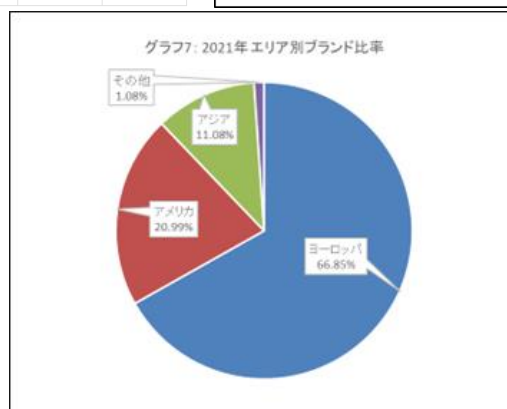
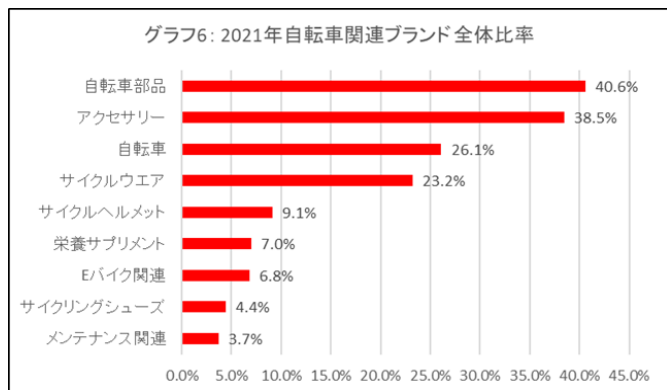
AMBEによると、2021年スペインにおける自転車関連企業は362社で、前年に対し6.78%増となっている。また、自転車製造業者は180社で、前年に対し7.14%増となっている。さらに、自転車販売店は、修理専門店やレンタルショップを合わせ3,028店で、販売面でも前年比1.58%増となっている。

また、スペイン自転車市場におけるブランド数は1,291ブランド（新規ブランド49、国内ブランド240）となっている。カテゴリー別のブランド数内訳は表4のとおりで、全ブランドに占めるカテゴリー割合はグラフ6のとおりである。エリア別ブランド比率はグラフ7のとおりで、欧米ブランドが全体の9割弱を占めている。

表4: カテゴリー別ブランド数内訳

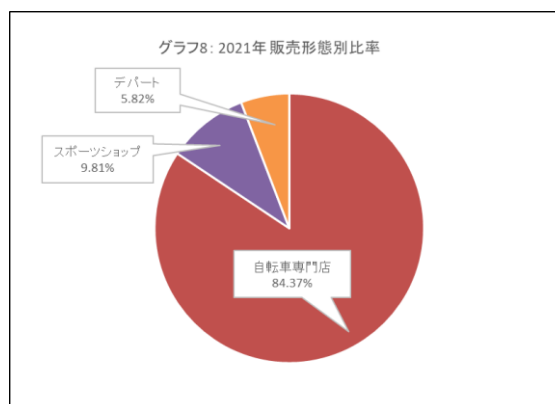
カテゴリー	比率(注)	ブランド数	対前年数
自転車部品	40.6%	524	18
アクセサリ	38.5%	497	46
自転車	26.1%	337	3
サイクルウェア	23.2%	300	1
サイクルヘルメット	9.1%	117	-3
栄養サプリメント	7.0%	91	-1
Eバイク関連	6.8%	88	-3
サイクリングシューズ	4.4%	57	-1
メンテナンス関連	3.7%	48	6

(注) 比率は全ブランド数1,291に対するもの。



販売形態別比率は表 5 及びグラフ 8 のとおりで、全体の 85%近くを自転車専門店が占めている。

販売形態	比率	前年比
自転車専門店	84.37%	1.36%
スポーツショップ	9.81%	-1.12%
デパート	5.82%	-0.24%



4. 全般的概要

AMBEによると、例外的であった2020年の後、スペインの自転車市場は2021年も成長を続けることができた。自転車市場は在庫不足、サプライチェーンの問題、原材料と輸送コストの上昇などの影響は受けているものの、それらに適応するための高いレベルの強さと能力を示している。

自転車市場は金額ベースで10.76%成長し、価値は28億8,790万ユーロにも達している。また、自転車の販売も金額ベースで前年比15.33%増加した。自転車関連の企業数は6.78%増加したほか、国内の自転車製造業者数は7.14%増加、自転車販売店も前年と比較して47店舗増えている。

車種別販売では、台数ベースでEバイクが2年連続20万台超と好調であるのに対し、アーバンバイク（シティ車）は、過去最高を記録した2020年と比較して12%減少した。車種別販売で最も成長しているのはグラベルロードで、次にEバイク、ロードレーサー、マウンテンバイクと続いている。

自転車の平均販売価格は前年と比較して14.88%増加しているほか、部品と付属品の売上も伸びていて、金額ベースでヘルメットが43.25%増、サングラスが38.23%増、シューズが38.38%増となっている。

こうした成長を背景にAMBEは「スペインの自転車業界は雇用とビジネスチャンスを生み出し続けている」としている。

以上

出所：ASOCIACION DE MARCAS Y BICICLETAS DE ESPANA